

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 宇土市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	鶴城中学校1年生269名 2年生273名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック・ムーブメント) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	本校生徒が、陸上オリンピック(トップアスリート)の実技指導をとおして陸上競技の楽しさを体感するとともに、オリンピック・パラリンピック等に関する講話を聴き、運動促進による健康づくりを進めることをねらう。
5 取組内容	1、事前指導 ・オリンピックやパラリンピックの意義などについて ・成迫健児選手の経歴を紹介する。 ・質問を考える。 2、実践 ・講演を聞く。 ・質問をする。



	・実技指導を受ける。 
	3、事後指導 ・感想文を書き、振り返る。 ・授業評価アンケートの実施。
6 主な成果	事前学習で、講師の成迫氏の経歴や成績を紹介したことで、オリンピックに興味をもち、講話をしっかりと聴くことができた。 講話は、「夢への挑戦」と題し、目標に向かって努力することやプラス思考で考えることの大切さについて熱く語ってくださった。質問の時間には、試合前のモチベーションの高め方やトレーニングの仕方などについて質問があった。丁寧に答えていただき、参考になったようだ。実技指導では、陸上部員に動きづくりやハードルの実技指導をしていただいた。生徒たちは成迫氏の高い技術に感心していた。また、丁寧に技術指導をしていただき、今後の技術力向上につながる機会になった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・オリンピック、パラリンピックの意義について説明したり、事前指導で成迫健児選手の経歴や競技歴を紹介したりした点。
8主な課題等	・講演会の質疑応答の時間が十分でなかった。 ・陸上部員のための実技指導だった。他の生徒向けに実技を披露していただく時間があっても良かった。
9来年度以降 の実施予定	来年度も継続して、オリ・パラ教育に取り組み、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けての機運を盛り上げていきたい。